

0.2009 年度ふりかえり

2009 年度の基本方針に対する主要な成果と課題

■活動：国際協力 NGO への参加・協力を段階に分けて捉え、2009 年度は下記 3 つの達成に向けて活動します。

- (1) 国際協力や NGO に興味はあるが、実際の参加には結びついていない層に向けて：
加盟団体との合同キャンペーンを通じた NGO 活動への身近な参加方法の発信

中期計画の最優先課題である「国際協力・NGO の活動をわかりやすく伝える」ための事業として、加盟団体と合同で「Let's いっちょカマーキャンペーン」を実施し、気軽に参加できるイベントやアクションを提示しました。本キャンペーンを通して、企業・店舗との新たな連携や、これまで NGO に関わってこなかった層とのつながりができたことは大きな成果でした。一方で、国際協力や NGO の活動をわかりやすく発信することや、気軽に参加できるメニューを開発することの難しさをあらためて実感しました。

- (2) 具体的な参加・協力を模索する層に向けて：
相談、問い合わせ対応を通じた加盟団体の活動とのマッチング

外務省委嘱「平成 21 年度 NGO 相談員」として、2009 年度は 436 件の相談に対応しました。個人からのボランティア・就職相談のほか、企業や地域コミュニティと加盟団体とのマッチングについては、イベント企画・参加依頼、企業で取り組める社会貢献メニュー、緊急救援募金先の相談などに対応しました。

- (3) すでに活動を始めている層に向けて：
実践を通じた担い手育成・能力強化

2009 年度はインターン 5 人を受け入れ、関西 NGO 協議会の各事業をスタッフと一緒に担っていただきました。また、「Let's いっちょカマーキャンペーン」など開発教育・啓発に関する事業については、企画段階からボランティアが参加し、アイデアを提供していただきました。NGO スタッフ向けには、2009 年度の新規事業として JICA 大阪・兵庫と協働して「NGO ワーカーのための課題解決力研修」を実施しました。

■組織：活動の基盤となる自己資金の拡大とガバナンスの整備に取り組みます。

(1) 人や組織のネットワークという強みを活用した自己資金の拡大

① 活動の支援者・協力者となる賛助会員（団体・個人）を増やします。

これまで関西 NGO 協議会の事業に関わっていただいた個人や団体を中心に勧誘を展開し、35人37口、2団体4口の入会を獲得しましたが、目標には及びませんでした。

② それぞれの事業について、管理費までカバーできる協賛または助成の獲得を目指します。

特にキャンペーンなどの新規事業については、企画する段階から関連企業への協賛依頼・助成金の獲得に努力しました。しかし、事業にかかる人件費まで確保できなかった事業もありました。

③ 加盟団体関係者やボランティア・インターンが主体的に関われる新規寄付プログラムを開発します。

新規寄付プログラムとして、加盟団体複数を対象とする「まとめて寄付」の企画について協議しました。2010年度以降も引き続き協議する予定です。

(2) 常にミッションや中期計画を確認する一貫性、透明性の高い意思決定

理事会では中期計画を基盤とした事業展開を協議し、事務局は理事会の決定事項をもとに事業を実施しました。また、事務局内で四半期ごとに中期計画にもとづいた評価をおこない、進捗状況を理事会に報告しました。

(3) 認定 NPO 法人格取得を旨とした財務・税務の整備

収益事業開始の届け出をおこないました。認定 NPO 法人格については、要件緩和などに関する情報収集をおこないました。2010年度は本格的に議論をおこないたいと考えています。

1. 地域および全国的な NGO の連携及び協力関係の促進事業（ネットワーク）

NGO間の連携や協力を促進することで、個々のNGOの力を高めています。

■ ネットワーク・ミーティング



関西 NGO 協議会の会員が定期的集まり、情報・意見交換や経験共有を行う場として実施しています。2009 年度は計 3 回開催し、のべ 31 人の参加がありました。第 1 回は、政権交代に合わせて、与党となった民主党のマニフェストの ODA に関連する記述と NGO による提言の比較について話し合いました。第 2 回は忘年会を兼ねて会員同士の親睦と交流をはかりました。第 3 回は、アカウンタビリティセミナーと兼ねて、事業計画時に考慮すべきアカウンタビリティについて、加盟団体の事例をもとに意見交換をおこないました。

■ 加盟団体への情報提供

正会員・準会員へ向けて、関西 NGO 協議会の活動状況の報告や各種研修・助成金等の案内などを随時メールニュースで発信しました。また、賛助会員に向けては月 2 回のメールマガジンで加盟団体のイベント、スタディツアー、人材募集情報などをお知らせしました。2009 年度のメールニュース発信数：164 件

2. 国際協力に関する知識の普及、啓発事業

途上国の人々が抱えている問題が私たちの生活と深くつながっていることを認識し、お互いが学びあうことができるような気づきの機会を提供します。

■ 「Let's いっちょカマー」キャンペーン

地球規模の課題に関心は持っているが実際の参加には結びついてない層に対して、加盟団体がアイデアを持ち寄り、個人、企業や店舗などが気軽に行動を起こせるメニューを提供する合同キャンペーンを実施しました。



12 月～2 月にかけて大阪市内（ミナミ・キタ）で、カフェでのトーク&ディナーやフリーマーケット、写真展、体験イベントを実施しました。プレイベントとして 10～11 月には、ろうきんギャラリー心齋橋にてフェアトレード商品・書籍・写真パネルなどの展示をおこないました。また、ウェブで参加できるメニューの提供や、クチコミを通じた広報にも挑戦しました。関西 NGO 協議会が実行委員会事務局となり、13 加盟団体、3 助成・協力団体、2 企画協力団体が参加し、来場者は約 1,400 人（プレイベント除く）でした。

■講師紹介

加盟団体スタッフや個人会員の協力を得て、大学でユニット型の講師陣で「国際 NGO 論」等を開講しました。NGO スタッフが視聴覚教材やワークショップを活用して、国際協力の現実、課題解決への取り組みの状況について、臨場感のある説明は既成の講義とは異なるインパクトを与えて、受講生からは「社会をみる視点が変わった」「国際協力・NGO について理解することができた」「グローバリゼーションのマイナスの現象について関心を持つことができた」と好評でした。今後は学生の関心の多様化、理解力を考慮したプログラムの立案が課題と考えています。

■パナソニック提供／龍谷大学 370 周年記念事業 公開講座

「今、あなたに知ってほしい世界の現実～社会貢献・国際協力入門講座」
(共催：パナソニック株式会社、学校法人龍谷大学)



加盟団体スタッフや個人会員、有識者を講師にお迎えし、社会人向けの啓発機会が少ない社会貢献や国際協力の分野で、前期・後期計 18 回の講座を開催しました。各回 70 人の定員に対し、申込みは約 85～130 人、当日受講は約 50～70 人でした。広く一般の方を対象にしましたが、参加者の約 60%が会社員で、「社会を動かす現役世代」が「本業を通じた社会への貢献」に主体的に取り組み、商品やサービスのイノベーションを提案できる人材育成を目指す」という目標に対して一定の成果があったと考えています。

■広報、情報発信

国際協力や NGO の活動を伝えるために、関西 NGO 協議会のウェブサイト加盟団体が主催するイベント・セミナー・スタディツアーの情報や人材募集情報を掲載しています。2009 年度は一日平均約 105 アクセスでした。また、ウェブサイトからの情報発信力を強化するために、現在リニューアル作業中（2010 年 5 月にオープン予定）です。

■DVD「私たちの暮らしと世界のつながり」頒布

貧困や環境問題といったグローバリゼーションが引き起こす問題と私たちの暮らしとのつながりを知ってもらうために、2007 年度にパナソニック株式会社との協働で DVD「私たちの暮らしと世界のつながり」を作成し、頒布しています。2009 年度は 33 枚を頒布し、教育機関や地域のグループ活動で活用いただいています。

■写真パネル「子どもをとおしてみる世界」貸し出し

より多くの方に関西地域の NGO の活動について知っていただくために、加盟団体から写真データを提供していただいていた作成した写真パネルの貸し出しをおこなっています。2009

年度の貸し出し実績は2件でした。また、「Let's いっちょカマー」キャンペーンの一環として、オリンプラザ大阪のオープンフォトスペースを貸し出しいただき、写真展「子どもをとおしてみる世界」を開催しました。

■関西 NGO 大学

加盟団体の協力を促進し、国際協力に関する知識の普及・啓発をはかることで NGO 活動に関わる人材育成を目的に開催し、2009 年度で 23 期となりました。今期は「続けること、変えること～世界とよくつながるために、私ができること」をテーマに一泊二日、6 回の講座を開催、受講者はのべ 159 人でした。国際協力をおこなう背景として、政治、メディア、環境を取り上げ、実践につながる学びとしました。

3. 「国際協力を促進するための提言事業」(政策提言)

よりよい国際協力を実現するため、政府機関等との対話や広く社会に対する提言を行います。

■NGO・外務省定期協議 (ODA 政策協議会、連携推進委員会)



NGO-外務省定期協議は、連携推進委員会と ODA 政策協議会という 2 つの会議から成り立っています。連携推進委員会は、ODA による NGO 支援策など実務的な話し合いをおこなっており、2009 年度は主に NGO 活動環境整備支援事業や日本 NGO 連携無償資金協力の改定案について協議がおこなわれました。

ODA 政策協議会は、外務省が関わる ODA 政策について外務省及び NGO 双方が意見・情報交換をおこなうことを通じて、より良い ODA のあり方を共に考え、NGO と外務省の連携を強化するとともに政策の透明性を高めることを目的としています。2009 年度は 3 度の会合を開催し、のべ 72 人の NGO 関係者が参加しました。議題としては、「中期政策の改定」や「イラク復興支援の評価」など政策から現場まで様々なテーマが取り上げられました。

■NGO・JICA 協議会【受託】

(事務局業務受託：(特活) 国際協力 NGO センター)

NGO と JICA の対話を通じて、JICA 業務の透明性・説明責任の向上を図るとともに、対等なパートナーシップを実現することを目的としています。2008 年 11 月の JICA・JBIC 統合を機に NGO・JICA 協議会も一元化し、より透明性の高い運営体制を構築しました。2009 年度は 4 度の会合を開催し、のべ 114 人の NGO 関係者が参加しました。主に、JICA 本体事業における NGO との連携や NGO・JICA 協働ガイドラインの作成について協議が

おこなわれました。「世界のひとびとのための JICA 基金」については、分科会を設置して集中的に議論がおこなわれ、来年度から同基金の運営委員会に NGO 委員が参加することなどが合意されました。

■その他時宜に応じた活動

2009 年 10 月に（特活）国際協力 NGO センター（JANIC）、ODA 改革ネットワーク、（特活）名古屋 NGO センターと合同で「国際協力・ODA の抜本の見直しに関する国際協力 NGO の共同提言 2009」を作成し、賛同団体を募りました（59 団体が賛同）。この共同提言を第 2 回 ODA 改革パブリックフォーラムの場で紹介しました。2010 年 2 月には、岡田外務大臣が「ODA 全体のあり方を検討する」と発表しました。共同提言では過去の ODA の検証について触れられていなかったため、関西 NGO 協議会では ODA の見直しにあたって、過去の ODA の検証をおこない、その結果を新たな政策に反映するよう提言するべく提言書を作成中です。

4. NGO 活動に関する相談及び支援事業

より多くの人びとが NGO 活動に参加できるよう、情報提供を行います。

■相談、問い合わせ対応【受託】

（受託：外務省委嘱「平成 21 年度 NGO 相談員」）



国際協力や NGO に関心のある方や NGO 関係者からの質問・相談に対応しています。「NGO でボランティアをしてみたい」という方には、関心を持っていることなどをじっくりうかがって団体を紹介したり、NGO 関係者からの組織運営やプロジェクト実施に関する相談には、関西 NGO 協議会や加盟団体の事例なども紹介しつつアドバイスしました。また、セミナーなどでの講演やイベント会場にブースを設置して

相談に対応する「出張サービス」を 7 件おこないました。広報に関しては、外務省が作成したチラシに加えて関西 NGO 協議会オリジナルのチラシを作成し、より積極的に相談制度の広報をおこないました。

毎月の相談件数平均：約 40 件／年間 436 件

■「フィールドワーク実習Ⅱ」支援【受託】

（受託：龍谷大学経済学部）

経済学部専攻科目「フィールドワーク実習Ⅱ」企画・運営の支援をおこないました。この科目は学生が NGO の企画する海外スタディツアーに参加し、事前学習・ツアー中のフィ

ールドワーク・事後学習を通して学びを深めるものです。具体的には、企画や運営についてのアドバイス、参加学生募集の支援、スタディツアーの紹介や学生への相談対応などをおこないました。2009年度は10人の学生が4団体のスタディツアーに参加しました。

5. NGO活動に関する人材育成事業

次世代のNGO活動の担い手が育つよう、学びの機会を提供します。

■実践的参加型コミュニティ開発研修コース【受託】

(受託：独立行政法人国際協力機構大阪国際センター（以下、JICA大阪）)



アルゼンチン、エクアドル、ケニア、パプアニューギニア、東ティモール、ブータンの6カ国から計9人のNGOスタッフ・地方自治体スタッフを研修員として受け入れました。6週間にわたる研修では、コミュニティ開発に関わる外部者が持つべき態度やコミュニケーションスキルを一つの軸に、近代化によって日本社会がどう変化し、それがコミュニティにどう影響したかという視点をもう一つの軸にして、研修参加者の活動や日本のコミュニティ開発の事例を考え抜きました。日本のNGO/NPO関係者も3人が国内参加者として、ケーススタディ、フィールドワーク、ディスカッションなどを通じた学び合いを共にしました。

■NGOワーカーのための課題解決力養成研修（関西）【受託】

(受託：JICA大阪、独立行政法人国際協力機構兵庫国際センター（以下、JICA兵庫）)

関西地域のNGOスタッフを対象に、所属団体の抱える課題を発見・解決するプロセスを共有し、課題解決力を身につけるための研修をおこないました。研修では、「課題分析に必要な視点や分析手法に関するワークショップ」、「広報とファンドレイジングに関する講義」、「団体訪問による個別コンサルティング（希望者のみ）」をおこない、団体ごとのアクションプランを作成しました。8団体12人が研修を修了し、それぞれの団体が現在抱えている課題に優先順位をつけて絞り込み、着実に実行に移せる具体的なアクションプランが示されました。

■アカウンタビリティセミナー【受託】

(受託：(特活)国際協力NGOセンター)

2006年度から取り組んできたアカウンタビリティセミナーの総仕上げとして、(特活)国際協力NGOセンター、(特活)名古屋NGOセンターとともに、アカウンタビリティの考え方やツール・事例を紹介した『アカウンタビリティガイド～計画的にアカウンタビリ

ティに取り組むために』を作成しました。ガイド作成後、関西 NGO 協議会加盟団体の事例を取り上げたセミナーを開催し、ガイドを活用した効果的・効率的なアカウントビリティ計画づくりを学びました。本セミナーには NGO5 団体 6 人が参加しました。

■セーフ・トラベル・セミナー

(共催：株式会社マイチケット、早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター)



2007 年よりスタディツアーの企画担当者を対象に、ツアー実施における危機管理について学ぶセミナーを開催しています。

■第 3 回セーフ・トラベル・セミナー (大阪会場)：2009 年 4 月 25 日

「スタディツアーと旅行業法」「スタディツアーと旅行保険」「感染症の基礎知識」「虫さされ」について取り上げました。計 33 人の NGO スタッフや大学関係者などが参加しました。

■地域別情報交換会：2009 年 7 月 9 日 (タンザニア)、10 月 13 日 (タイ)

国、地域別にスタディツアーをおこなう団体による情報交換会をおこなっています。2009 年度は、タンザニア、タイの 2 カ国について現地の最新情報や経験を共有しました。

■スタディツアー経験交流会：2009 年 11 月 12 日

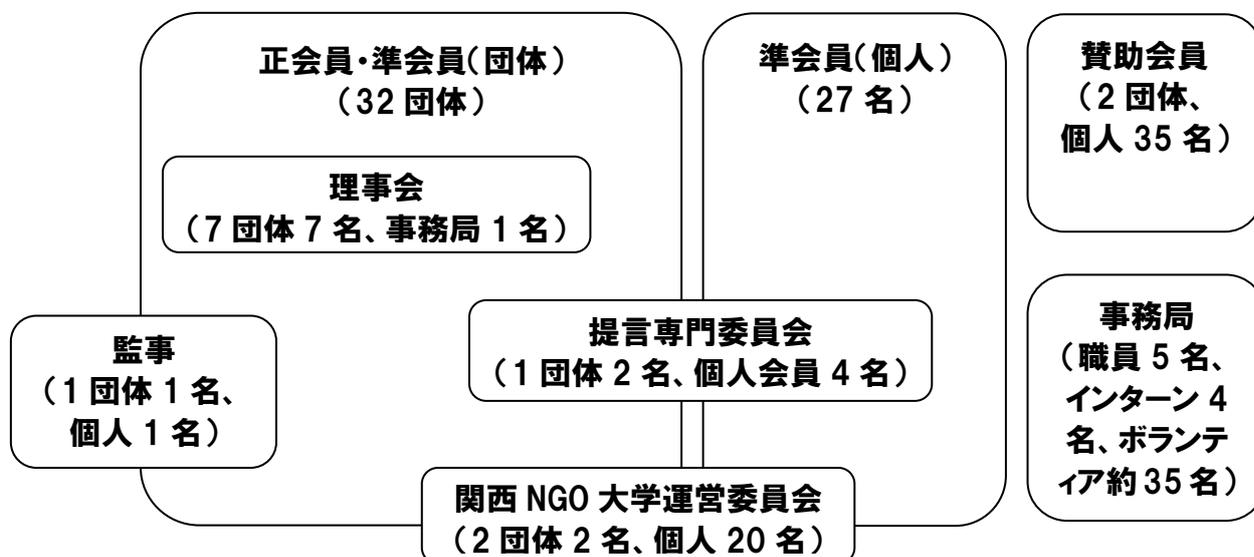
2008 年度春期・夏期スタディツアーを実施した 4 団体が、実施内容やトラブルについての報告をおこないました。

■インターン・ボランティア受け入れ

NGO・国際協力活動の担い手をめざす方を対象に、1999 年よりインターンを受け入れています。2009 年度は「政策提言」「Let's いっちょカマー」キャンペーン、「今、あなたに知ってほしい世界の現実～国際協力・社会貢献入門講座」「セーフ・トラベル・セミナー」の業務において計 5 人のインターンを受け入れました。

また、2009 年度はのべ 36 人がボランティアとして当会の活動に参加しました。またボランティアを中心に、2009 年 12 月より毎月第 3 土曜日に、関西 NGO 協議会の事業についてアイデアを出し合う「KNC アイデア会議」を開催しています。

組織 (2010年3月31日現在)



理事会

代表理事	(財) PHD 協会	藤野 達也
副代表理事	(財) 神戸学生青年センター	飛田 雄一
理事	(特活) AM ネット	石中 英司
理事	(特活) CODE 海外災害援助市民センター	村井 雅清
理事	日本国際飢餓対策機構	西川 真一
理事	(社) 日本キリスト教海外医療協力会 関西事務局	渋江 理香
理事	認定 NPO 法人 緑の地球ネットワーク	高見 邦雄
理事	事務局長	榛木 恵子
監事	(特活) テラ・ルネッサンス	鬼丸 昌也
監事	大阪市立大学大学院創造都市研究科	柏木 宏

提言専門委員会

神田 浩史	((特活) AM ネット)
三輪 敦子	((特活) AM ネット)
岡島 克樹	(個人会員)
川村 暁雄	(個人会員)
加藤 良太	(個人会員)
中田 豊一	(個人会員)

第 23 期関西 NGO 大学運営委員

校長	藤野 達也 ((財) PHD 協会)
副校長	浜本 裕子 ((財) 大阪 YMCA)
運営委員	荒川 共生、稲垣 文拓、岩 寄 唱子、片岡 法子、倉田 あかり、佐 久間 量子、鈴木 勝久、篁 正康、田中 綾、田中 啓子、田中 千晶、土屋 佳寿 子、中村 亜矢子、藤井 久美子、藤岡 直 子、松田 洋子、宮川 保喜、向井 一朗、 山下 奈美、吉富 久美子